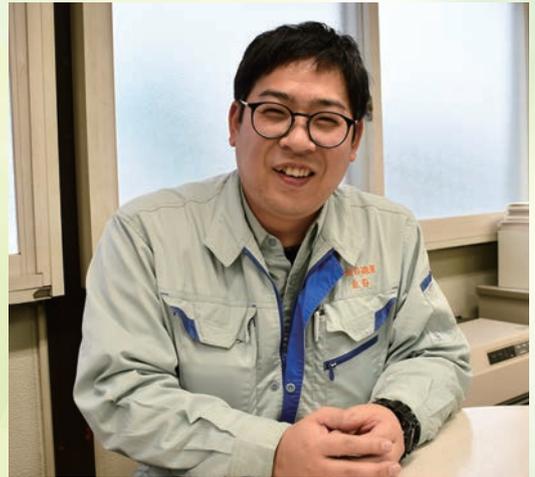


ATSUMA LOVERS

第20代の商工会青年部長に就任して2期4年。間もなく、任期が修了します。造園業を営む傍ら、「商工会青年部は、裏方の実働部隊」と胸を張り、地域の活性化に汗を流してきました。イベントを通じて町のにぎわいのために熱意を注ぐ金谷さんを訪ね、秘めた思いを伺いました。



町商工会青年部長
かな や やすお
金谷 泰央さん(39歳)

イベントを通じて町に活力を

金谷さんは、町商工会青年部設立50周年の節目に部長に就任しました。後継者不足や次世代への橋渡しなど、今後の活動に期待感を高めていたそうです。「新しい時代に合った運営の仕方を模索していました」と振り返りました。後輩への橋渡しをスムーズにするため、より深いコミュニケーションづくりを意識しました。青年部主催のスターフェスタ、「町の象徴」と胸を張る田舎まつりなど、「子

どものころに肌で感じた人の活力を取り戻したい」と、家庭も振り返らず陣頭指揮を執ってきました。「皆さん口をそろえますが、厚真は空港にも港にも近く、都市部に行きやすい。逆に、都市部から人を呼びやすい町でもあると思っています」。交流人口を活性化させる手段として、自然とイベントの運営に力が入るのだそうです。胆振東部地震の翌年には、復興イベントも開催。コロナ禍に見舞

われた昨年は、相次いで行事が中止になり、身動きが取れない厳しい1年と打ち明けてくれました。昨年11月19日夜、町商工会で会議を開きました。「スターフェスタ」の開催を判断する会議です。慎重な意見もありましたが、金谷さんはこう切り出しました。「今年1年、僕たちは何もしていません。無病息災と鎮魂の願いを込めて、ドライブイン方式でやりたいと思っています」。知人を介して札幌市で昨年8月に開かれたドライブイン花火の実行委員と連絡を取り、トイレ以外には車から降りないなど、来場者に協力を求めながら鑑賞のためのルールを積み上げ、数カ月かけて準備しました。青年部長の集大成でもあるスターフェスタ。「今年の花火は、私にとって困難を乗り越える希望の光。時間をかけて、大きな光になることを願っています」。

あなたにとっての
愛すべき厚真を投稿してください



フェイスブック
@atsumatownhokkaido



インスタグラム
atsumalovers

ハッシュタグ#atsumaloversをつけてフェイスブックまたはインスタグラムに投稿してください。

ATSUMA LOVERS